

単元で育む資質・能力の3つの柱

【主体的に学習に取り組む態度】

☆言葉がもつよさを認識し、作者の伝えたいことや考えたいことを自分なりに考えて表現しようとする力

【知識・技能】

☆比や反復などの表現の効果に気づくこと。(1)ク

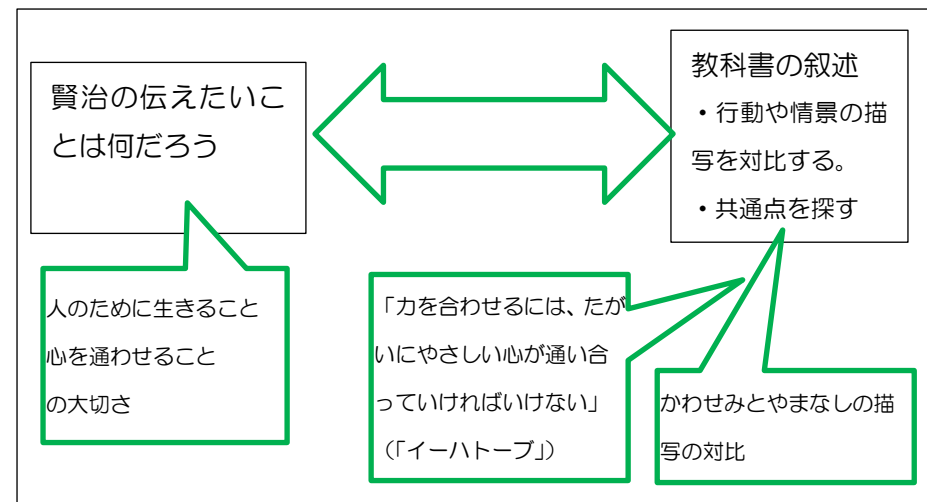
【思考力・判断力・表現力】

C 読むこと  
◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする力。

【(1)精査・解釈エ】

○文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめることができる。【(1)考えの形成オ】

言葉による見方・考え方を働かせるために捉えさせたい関係付け



単元の目標

○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。

賢治の○○新聞を作る。

- 中心人物の気持ちは…。(イ)
- 変わった表現がいっぱいあるけど、よだかの星では何を言いたいのかな。(イ暗示的な表現)
- 賢治がよだかの星（関連図書も含む）で言いたいのことは他の人に迷惑をかけたくないことかな。(エ主題)
- 賢治が、よだかの星を題にした理由は何だろう。賢治もよだかのような生き方をしたかったのかな？(エ全体像)
- 「イーハトーブの夢」の賢治の生き方と関連させて考えよう。(エ)

【C(1)エ】

指導事項

【C(1)オ】

- ・文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめることができる。
- 感想や考えをもつ
- 既存の知識や理解した内容と結び付けて、自分の考えをまとめる。

・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。

- 「何がどのように描かれているか」という表現面に着目する。
- 場面の移り変わりを捉える。

【知識・技能】

- 会話文や行動から比や反復を探す。

言語活動 宮沢賢治の作品を読んで、自分が読み取った賢治の伝えたいことを新聞にまとめる。

「読むこと」の資質・能力の系統

第1学年

◆場面の様子について、登場人物の行動を具体的に想像する。

第2学年

◆叙述を基に、登場人物について具体的に想像すること。

第3学年

◆登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像する。

第4学年

◆登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像する。

第5学年

◆人物像や物語などの全体像を具体的に想像する。  
◆登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える。

本単元

中学校

◆場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基にとらえること。  
◆場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。

